

富士海岸における台風来襲時の波浪の発達特性

大阪支店 技術第一部 桜庭雅明 他

○キーワード

富士海岸、台風0422・0423号、波浪発達特性、第三世代波浪推算モデルSWAN

○概要

本論文では、富士海岸における台風来襲と波浪の発達特性の関連性を検討することを目的として、最近来襲した代表的な台風である台風0422号および台風0423号の波浪の発達特性と富士海岸の被災状況に関する考察を報告する。台風および波浪の発達状況やその特性については周辺の気象・海象状況を整理し、その考察を述べた。また、台風の発達経路とそれに伴う波浪の発達状況を時系列的に検討することを目的として、第三世代波浪推算モデル（SWAN：Simulating WAve Nearshore）による波浪の再現計算を実施し、当該海域周辺での波浪発達状況の再現性に関する評価を行い、波浪推算モデルの妥当性と課題に関して検討した。

○技術ポイント

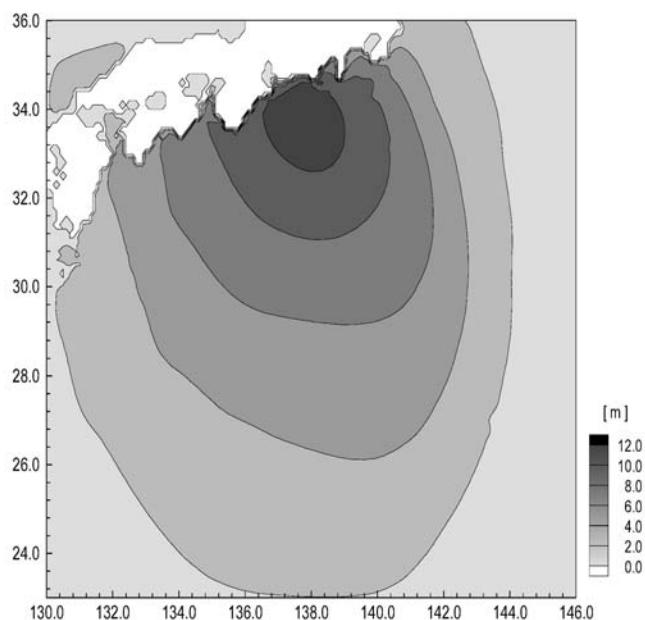
本論文における技術的ポイントを以下に示す。

- ① 2004年に来襲した台風の経路・風速などの特性から実際の波浪の発達状況について評価した。
- ② 波浪の再現期間を確認した結果、最近来襲した台風0423号は10年程度であり大規模であった。
- ③ 台風モデルにより、風場を再現し、第三世代波浪推算モデルにより評価を行って、定性的な傾向を捉えた。ただし、再現性の課題が残されており、風速場などの確認については今後の検討課題として残された。

○図・表・写真等



富士海岸における台風来襲後の浜崖の形成状況
(富士海岸吉原工区)



駿河湾周辺の再現計算結果（有義波高分布）
台風0423号Domain1（2004/10/20 22：00）